

ヒグマ有害性判断

有害性段階	ヒグマの行動等
段階 0 (非問題個体)	◆人を見ると逃げる ◆痕跡のみで目撃されていない
段階 1 (問題個体)	◆人を見てもすぐには逃げない ◆追い払っても逃げない ◆たびたび目撃される
段階 2 (問題個体)	◆ごみ・廃棄物等をあさる ◆農作物・家畜等を食害する
段階 3 (問題個体)	◆人間を攻撃した ◆積極的に近づいてくる ◆人間の生活に影響がある

出沒したヒグマの有害性判断については、出沒したヒグマが同一であるかどうか、どのような行動をとるかといった出沒状況に応じてその都度判断されます。